

## (2) 各ケースの支援経過

以下、各ケースの支援経過を記載する。なお、内容は支援をしていく中で大きな変化があったポイントを記載している。矢印はその変化にもとづいた継続的な支援をさしている。

図表 4-4-1 ケース A の支援経過

経過 月数	ケース A			
SFA 項目	生活リズム	セルフケア	コミュニケーション	就労生活
1-3 ヶ月	話し合い 気分転換や気持ちの安定支援	社会人としてのマナーを 考える		作業に取り組む
4-6	活動の中で、落ち着かない 時もある	身だしなみチェックシ ートを活用し、確認す ける	人との距離感に気をつ ける	
7-9	☑人数グループ 隔離された小さな空間での作業			
10-12	TEACCH の支援方法を組み込 む	できない気持ちが先立ち できないことがある	コミュニケーション意思 カード活用	
13-15		社会生活力プログラム 活用	社会生活力プログラ ム活用	作業に集中できる ようになる
16-18	集中して作業に取り組 めるようになる			
19-21	☑人数でいると落ち着いて 過ごしている		接し方、距離感を意識 できるようになる	
22-24				
25-				